

ミニギャラリー

(敬称略)

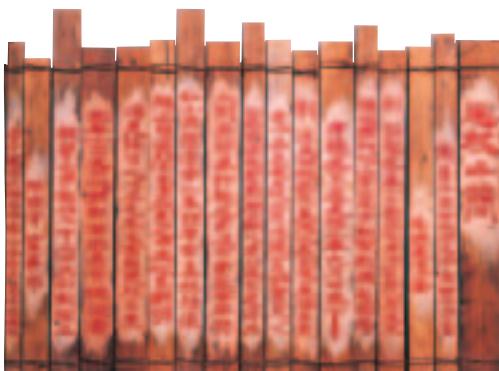
▼熊野高校

1年生・2年生

書道部

【評】平成14年度、広島県高等学校総合文化祭中央展、書道部門に出品した共同作品(約2m×3m)です。

書道部1・2年生がお互いに励まし合って、見事に完成させました。



▼熊野高校 3年 大瀬戸 裕一

【説】この作品は、2002年度広島県高等学校デザインコンクールで入選した作品です。B全判パネルにアクリル絵の具で描いたカラフルな亀が、右往左往している様子をユニークに表現しており、全体の画面構成や色使いにとても工夫した力作です。



熊野の自然 (161)

ヤブツバキ

(ツバキ科)



あつたのを覚えています。

もうすぐ春です。ヤブツバキの花も熊野では、早い所で2月下旬から咲き始めます。春の木と書く「椿」は、日本で作られた文字です。ツバキの語源は「厚葉木」「艶葉木」ではないかと言われています。葉が厚くて艶があるところからきたようですね。

常緑高木で長寿のためか神聖で靈力のある木とされ、全國に神木とされる椿の巨樹や椿神社が多数あります。

生活との関わりも深く、材は堅いため武器や家具などに、灰は媒染剤に用いました。2枚の葉で餅を包む椿餅は日本最初の餅菓子で、柏餅や桜餅のものと考えられています。種子からは灯火用、頭髪用などの油をとりました。子供の頃、祖母の使う椿油のびんが

が標準ですが、色や形、大きさには変化があります。江戸時代には椿の大ブームがあり、自生種から多くの園芸品種が作られました。ツバキは、園芸品種をも含めた総称です。

雄しへと花びらは基部でくつについているため、花全体がそのままポトリと落ちます。武士には首切りを連想させるため嫌われたようですが、群生地では赤いじゅうたんのように地面を飾ります。

町内の群生地は石巖の観音様のある谷です。初神の新峠から海田へ下る道も、たくさんの花が見られるでしょう。町内では「かつぽ」と呼んでいました。

【写真・文 関沢由美子】

今月の題材

熊野高校2年生
小原 美加さん



熊野町の火災と救急 平成14年12月中

火死救搬	災傷急送	件数	者数	員数
		2件	0人	72件70人

火災と救急の通報は119番
その他、消防の問合せ・
相談はこちら
海田地区消防署熊野出張所
TEL854-1103

町の人口と世帯数 (前年同月比較)

平成14年12月31日 平成13年12月31日	
26,281人	…人口…26,216人
12,836人	…男…12,822人
13,445人	…女…13,394人
9,785	…世帯数…9,626

「広報くまの」は再生紙に「エコマーク」と「ソシール」の認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。

